

# 令和6年度 ビジネス科 2年 シラバス

言語文化

歴史総合

数学Ⅰ

科学と人間生活

保健

体育

英語コミュニケーションⅠ

論理・表現Ⅰ（三修制）

家庭基礎

ビジネス・コミュニケーション

情報処理

簿記（三修制）

令和6年度 シラバス (言語文化)

教科	国語	単位数	2	学年(年次)	2年
使用教科書	新編言語文化(東京書籍)		副教材等	国語便覧(大修館書店)・常用漢字の級別学習(京都書房)	

1 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	随筆 生きる喜び ・さくらさくら  古文入門 古文の世界へ ・古文に親しむ  ・用光と白波	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</li> <li>古文と現代文の違いについて確認し、それぞれの文章のリズムや調子の違いを感じ取る。</li> <li>古語の知識を活用して、登場人物の行動と理由、心情を読み取る。</li> </ul>
	随筆 日々の思い ・徒然草  小説1 触れ合う心 ・とんかつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉え、主題を読み取る。</li> <li>会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。</li> </ul>
後期	漢文入門 漢文に親しむ ・訓読の基本  詩歌 うたの心 ・折々のうた	<ul style="list-style-type: none"> <li>文の意味を考え、漢文の構造を把握した上で、訓点を施す。</li> <li>作品の内容や解釈を踏まえ、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。</li> </ul>
	小説2 葛藤する心 ・羅生門  論語 論語のことば ・論語一八章  詩歌 命をうたう ・冬がきた ・少年の日 ・I was born	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</li> <li>作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>表現の仕方や特色に注意して読み味わい、作者の物事に対する感じ方について考える。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
<p><b>【評価方法】</b> 定期テスト、提出物(ノートやレポートなど)、授業態度、漢字検定へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和6年度 シラバス (歴史総合)

教科	歴史総合	単位数	2	学年(年次)	2年
使用教科書	明解 歴史総合(帝国書院)	副教材等	なし		

1 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第1部 歴史の扉 第2部 近代化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校までの学習を踏まえて、身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察する。</li> <li>・18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのかについて、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について考察したり、18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究したりする。</li> <li>・市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現する。</li> </ul>
	第1章 江戸時代の日本と結び付く世界 第2章 欧米諸国における近代化	
	第3章 近代化の進展と国民国家形成 第4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	
	第5章 近代化が進む日本と東アジア	
後期	第3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、現代社会に与えた影響と課題について追究する。</li> <li>・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察する。</li> <li>・明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現する。</li> </ul>
	第1章 第一次世界大戦と日本の対応 第2章 国際協調と大衆社会の広がり	
	第1章 第一次世界大戦と日本の対応 第2章 国際協調と大衆社会の広がり	

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめることができる。	○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明し、それらを基に議論したりすることができる。	○歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。

【評価方法】

- ・定期考査にて、出題範囲における知識と技能の習得の状況、思考力・判断力・表現力を評価する。
- ・学習活動の様子や発表、討論、論述などの内容を評価のための資料とする。

令和6年度 シラバス ( 数学 I )

教科	数学	単位数	2	学年(年次)	2年
使用教科書	新 高校の数学 I (数研出版)		副教材等	なし	

1 科目の目標

図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培う。また、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第2章 2次関数 第2節 2次関数の値の変化 2. グラフと2次方程式 3. グラフと2次不等式 第3章 図形と計量 第1節 三角比 1. 直角三角形	<ul style="list-style-type: none"> <li>因数分解や解の公式を利用して、2次方程式を解く。</li> <li>2次関数のグラフとx軸の共有点のx座標を求める。</li> <li>2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解く。</li> <li>直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求める。</li> <li>三角定規の形の三角形について、辺の比を知る。</li> </ul>
	2. 三角比 3. 三角比の利用  4. 三角比の相互関係  5. 鈍角の三角比	<ul style="list-style-type: none"> <li>直角三角形において、正弦・余弦・正接を求める。</li> <li>三角比の表を利用して、三角比の値や角を調べる。</li> <li>三角比を利用して、直角三角形の辺の長さや角のおよその大きさを求める。</li> <li>三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求める。</li> <li>鈍角の三角比の値を求める。</li> </ul>
後期	第2節 三角形への応用 1. 正弦定理 2. 余弦定理 3. 三角形の面積 第4章 集合と命題 1. 集合 2. 命題と集合 3. 必要条件と十分条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>正弦定理を利用して、辺の長さや外接円の半径を求める。</li> <li>余弦定理を利用して、辺の長さや角の大きさを求める。</li> <li>辺の長さや角の大きさから三角形の面積を求める。</li> <li>様々な集合について、理解する。</li> <li>命題の意味を理解し、反例を用いて命題の真偽を判定する。</li> <li>十分条件、必要条件及び必要十分条件や逆、対偶の意味を理解する。</li> </ul>
	第5章 データの分析 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり  4. データの相関 5. 仮説検定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>階級、度数などの用語を理解し、度数分布表にまとめたり、ヒストグラムをかいたりする。</li> <li>最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、求める。</li> <li>四分位数や四分位範囲、四分位偏差の定義を理解し、四分位数を求める。</li> <li>分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、求める。</li> <li>相関係数の定義とその意味を理解し、相関係数を計算する。</li> <li>仮説検定の考え方を理解し、ある事柄が正しいかどうかを判断する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、社会の事象などから設定した問題について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
<p><b>【評価方法】</b></p> <p>定期考査や小テスト、平常の学習活動、学習プリントやノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和6年度 シラバス (科学と人間生活)

教科	理科	単位数	2	学年(年次)	2年
使用教科書	科学と人間生活(数研出版)		副教材等	なし	

1 科目の目標

<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。</p>
--

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	序編 科学技術の発展 1編 1章 材料とその再利用 2章 衣料と食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の発展に伴って、今日の間生活がどのように変化してきたかについて理解させる。</li> <li>金属に共通する性質を理解させる。</li> <li>身のまわりに多く使われているプラスチックの種類について理解させる。</li> <li>私たちが食品から取りこむ栄養素の種類について理解させる。</li> </ul>
	2編 1章 ヒトの生命現象 2章 微生物とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝子の本体である DNA の構造について理解させる。</li> <li>ヒトのからだには、病原体を排除する免疫が備わっていることを理解させる。</li> <li>微生物には特徴の異なるさまざまな生物が含まれることを理解させる。</li> <li>分解者としての微生物のはたらきを理解させる。</li> </ul>
後期	3編 1章 光の性質とその利用 2章 熱の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>白色光はあらゆる色の光が混ざったものであることを理解させる。</li> <li>基本的な光の進み方(光の直進性、光の速さ)について理解させる。</li> <li>セルシウス温度と絶対温度について理解させる。</li> <li>熱容量と比熱について理解させる。</li> </ul>
	4編 1章 太陽と地球 2章 自然景観と自然災害	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー源である太陽の、天体としての特徴を理解させる。</li> <li>マグニチュードと震度の違いを理解させる。</li> <li>火山噴火のしくみについて理解させる。</li> <li>土砂災害の種類と危険性の高い地形との関係について理解させる。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。また、観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。</p>	<p>自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について問題を見出し、観察、実験などを通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</p>	<p>自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味・関心をもち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。</p>
<p><b>【評価方法】</b>                      定期考査や小テスト、平常の学習活動、ノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和6年度 シラバス (保健)

教科	保健体育	単位数	1	学年(年次)	2年
使用教科書	新高等保健体育		副教材等	新高等保健体育ノート	

1 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身につける。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第3章 生涯を通じる健康 ・生涯の各段階における健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期における心身の発達や性的成熟、思春期に起こりやすい健康課題について理解する。</li> <li>・自分の行動への責任感や異性の理解と尊重の必要性、性行動の選択には性情報への適切な対処が必要であることを理解する。</li> <li>・受精、妊娠、出産の過程とそれに伴う健康課題、人工妊娠中絶が心身へ与える影響について理解する。</li> <li>・加齢による心身の変化や高齢期の健康課題、高齢者の暮らしや健康を支えるために必要な社会の取り組みについて理解する。</li> </ul>
	・労働と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働環境の変化に伴い、労働災害の要因も変化していること、労働災害を防止するための様々な取り組みについて理解する。</li> <li>・職場での心身両面にわたる積極的な健康づくり活動、働く人の健康には余暇の活用など生活の質の向上も重要であることを理解する。</li> </ul>
後期	第4章 健康を支える環境づくり ・環境と健康 ・食品と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染による健康への影響、環境汚染による健康への影響を防ぐために行われている対策について理解する。また、産業廃棄物の処理や新たな環境汚染の課題について理解する。</li> <li>・安全な水の確保のために必要な上下水道の整備の現状と課題、生活環境を保全するためのごみ処理の現状と今後の課題について理解する。</li> <li>・人々の健康を支えるためには食品の安全性の確保が重要であること、食品の安全性を確保するための行政や生産、製造者の役割について理解する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関</li> <li>・様々な保健活動や社会的対策</li> <li>・健康に関する環境づくりと社会参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健行政の役割、医療保険の仕組み、医薬品には承認制度や販売に関する規制が設けられていることについて理解する。</li> <li>・日本や世界では国際機関や民間機関などにより行われている様々な保健活動や対策について理解する。</li> <li>・自他の健康の保持・増進には健康を支える環境づくりが重要であることを理解する。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
<p><b>【評価方法】</b> 定期考査や平時の学習活動、ノートなどの提出物を上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和6年度 シラバス ( 体育 )

教科	保健体育	単位数	2	学年 (年次)	2年
使用教科書	新高等保健体育		副教材等	新高等保健体育ノート	

1 科目の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	体づくり運動 球技 (バレーボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>心と体は互いに影響し変化することに気付き、仲間と主体的に関わりあうことができる。</li> <li>状況に応じたボール操作と連携した動きによって攻防を展開することができる。</li> <li>技能の習得に主体的に取り組むことができる。</li> <li>チームや事故の動きを分析して良い点や修正点を指摘することができる。</li> <li>ルールやマナー、フェアプレイを大切にしようとする事ができる。</li> </ul>
	球技 (バスケットボール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じたボール操作と空間への侵入などから攻防を展開することができる。</li> <li>技能の習得に主体的に取り組むことができる。</li> <li>チームや事故の動きを分析して良い点や修正点を指摘することができる。</li> <li>ルールやマナー、フェアプレイを大切にしようとする事ができる。</li> </ul>
後期	球技 (バドミントン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって攻防を展開することができる。</li> <li>技能の習得に主体的に取り組むことができる。</li> <li>チームや事故の動きを分析して良い点や修正点を指摘することができる。</li> <li>ルールやマナー、フェアプレイを大切にしようとする事ができる。</li> </ul>
	陸上競技 (長距離走) 体育理論	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペースの変化に対応して走ることができる。</li> <li>陸上競技に主体的に取り組むことができる。</li> <li>自己や仲間の動きを分析して良い点や修正点を指摘することができる。</li> <li>運動やスポーツの技術と技能、技能の上達過程、技能と体力の関係について理解できる。</li> <li>運動やスポーツの活動時の健康、安全の確保の仕方について理解できる。</li> <li>運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができる。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の取り組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。
<p><b>【評価方法】</b>                      平時の学習活動、実技における技能の習得、学習プリント等を上記の3つの観点から評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和6年度 シラバス ( 英語コミュニケーションⅠ )

教科	英語	単位数	2	学年(年次)	2年
使用教科書	FLEX ENGLISH COMMUNICATION I		副教材等	高校英語の基礎づくり ブレイクイングリッシュ[4訂版]	

1 科目の目標

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、言語の背景などを学び、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場所、状況などに応じて適切に英語を活用できる技能を身に付ける。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	<b>LESSON 6</b> Thomas the Tank Engine and SDGs <b>LESSON 7</b> Virtual Water ブレイクイングリッシュ 27-32	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入となる質問に答え、レッスンのトピックに関心や興味を持ち、本文の内容を正しく読み取る。</li> <li>語句の意味を理解し、発音できるようにする。</li> <li>「関係代名詞 what」「強調構文」「関係代名詞の非制限用法」「関係副詞」の表現を理解する。</li> <li>『きかんしゃトーマス』を通じ、SDGsについて学び、人々が共生するために何が必要かをグループで共有、発表する。</li> <li>『仮想水』について学び、水を大切にするためには自分たちに何ができるのかを共有し、MetaMoJi 上にまとめる。</li> <li>速読しながら、True or False に答える。</li> </ul>
	<b>LESSON 8</b> Wearable Robots May Change Our Life ブレイクイングリッシュ 27-36	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入となる質問に答え、レッスンのトピックに関心や興味を持つ。</li> <li>語句の意味を理解し、発音できるようにする。</li> <li>本文の内容を理解する。</li> <li>「仮定法過去」「仮定法過去完了」の表現を理解する。</li> <li>山海氏が開発したロボット HAL について学び、将来どのようなロボットができると良いかについて各自発表する。</li> <li>速読しながら、True or False に答える。</li> </ul>
後期	<b>LESSON 9</b> Biomimicry – Inspired by Nature ブレイクイングリッシュ 37-40	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入となる質問に答え、レッスンのトピックに関心や興味を持つ。</li> <li>語句の意味を理解し、発音できるようにする。</li> <li>本文の内容を理解する。</li> <li>「知覚動詞」「分詞構文」の表現を理解する。</li> <li>「バイオミミクリー」という概念について学び、その技術がどのような商品に使われたか調べ、グループ内で発表する。</li> <li>速読しながら、True or False に答える。</li> </ul>
	<b>LESSON 10</b> Donald Keene and His Love of Japan ブレイクイングリッシュ 41-44	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入となる質問に答え、レッスンのトピックに関心や興味を持ち、本文の内容を正しく読み取る。</li> <li>語句の意味を理解し、発音できるようにする。</li> <li>「前置詞+関係代名詞」「完了進行形」の表現を理解する。</li> <li>ドナルド・キーンの日本文学に関する業績を読み取り、グループ内で共有、発表する。</li> <li>速読しながら、True or False に答える。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学んだ文法、語彙や表現などの用法や意味を理解している。 本文について、内容の要点を捉え、自分の考えや意見を簡単な語句や文を使用して、発信したりする技能を身に付けている。	本文の要点を捉えている。 学習した文法や語彙や表現、簡単な語句を用いて、相手を意識し、自分の考えや意見を伝え合ったり、発表したりする。理由や根拠を示しながら、文章が書ける。	本文を主体的に理解しようとする。 自分の考えを伝え合ったり、発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとする。
<b>【評価方法】</b> 定期考査、様々な活動のパフォーマンス評価、提出物、授業態度、英検に向けて取り組む姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価する。		



令和6年度 シラバス (論理・表現Ⅰ)

教科	英語	単位数	2	学年(年次)	2年(三修制)
使用教科書	MY WAY Logic and Expression I		副教材等	高校英語の基礎づくり プレップイングリッシュ[4訂版]	

1 科目の目標

英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、言語の背景などを学び、実際の英語使用の場において、目的や場所、状況などに応じて適切に英語を活用できる技能を身に付ける。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	中間 LESSON 1 Let's talk about Ourselves  LESSON 2 School Life  LESSON 3 The Arts	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現在形(be動詞/一般動詞)」「過去形(be動詞/一般動詞)」「現在進行形/過去進行形」「未来表現」の文法を理解する。</li> <li>・題材に対し、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ちなどをMetaMoJiやパワーポイントを使い、発表する。</li> <li>・題材に対する有用な表現を学習し、ペアやグループになり、即興で自身の考えや気持ちを伝え合う。</li> <li>・「自己紹介」「好きな教科」「学校生活」に関する表現を学び、ALTや他の生徒に対し自身の情報を伝える。</li> </ul>
	期末 LESSON 4 Food and Culture  LESSON 5 Welcome to Our Town	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現在完了形/現在完了進行形」「助動詞」「受動態」の文法を理解する。</li> <li>・題材に対し、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ちなどをMetaMoJiやパワーポイントを使い、発表する。</li> <li>・題材に対する有用な表現を学習し、ペアやグループになり、即興で自身の考えや気持ちを伝え合う。</li> <li>・「レストランでの注文」「観光ガイド」に関する表現を学び、ALTや他の生徒に対し自身の情報を伝える。</li> </ul>
後期	中間 LESSON 6 Traveling Abroad  LESSON 7 Sports	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「不定詞」「動名詞」「分詞の後置修飾」「分詞構文」の文法を理解する。</li> <li>・題材に対し、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ちなどをMetaMoJiやパワーポイントを使い、発表する。</li> <li>・題材に対する有用な表現を学習し、ペアやグループになり、即興で自身の考えや気持ちを伝え合う。</li> <li>・「旅行」「スポーツ」に関する表現を学び、ALTや他の生徒に対し自身の情報を伝える。</li> </ul>
	期末 LESSON 8 Everyday Technology  LESSON 9 Take Care  LESSON 10 SDGs – Take Action!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関係代名詞」「関係副詞」「関係副詞」「仮定法」の文法を理解する。</li> <li>・題材に対し、基本的な語句や文を用いて、自分の考えや気持ちなどをMetaMoJiやパワーポイントを使い、発表する。</li> <li>・題材に対する有用な表現を学習し、ペアやグループになり、即興で自身の考えや気持ちを伝え合う。</li> <li>・「科学技術」「病院」「SDGs」に関する表現を学び、ALTや他の生徒に対し自身の情報を伝える。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学んだ文法、語彙や表現などの用法や意味を理解している。 学習した文法や語句を使い、自分の考えや意見を発信する技能を身に付けている。	本文の要点を捉えている。 学習した文法や語彙や表現、簡単な語句を用いて、相手を意識し、自分の考えや意見を伝え合ったり、発表したりする。理由や根拠を示しながら、文章が書ける。	新出語句や文法を主体的に理解しようとする。 自分の考えを伝え合ったり、発表したり、理由や根拠を示しながら、まとまりのある文章を書こうとする。
【評価方法】定期考査、様々な活動のパフォーマンス評価、提出物、授業態度、英検に向けて取り組む姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価する。		

令和6年度 シラバス (家庭基礎)

教科	家庭	単位数	2	学年(年次)	2年
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来		副教材等	生活学 Navi	

1 科目の目標

- ①生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図り、それに係る技能を身に付ける。  
 ②生活の中から問題を見つけ課題を設定し、解決策を考え、実践し、考察、表現するなど課題を解決していく力を養う。  
 ③様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第1章 これからの人生について考えてみよう 第2章 自分らしい生き方と家族 ①自立と共生 ②ライフキャリア 第9章 消費行動を考える 第10章 経済的に自立する	・人の一生には様々な人との関わりがあり、様々な生き方があることを理解し、目標や展望をもち自分の生き方を見つめ、生涯を見通した生活設計を工夫する。 ・青年期の課題を理解し、家族・家庭、社会とのかかわりについて理解する。 ・収入と支出のバランスの重要性、リスク管理の必要性、不測の事態に備えた経済計画等、家計管理の重要性を理解する。 ・消費行動における意思決定、契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、適切な意思決定、責任ある消費について考える。 ・持続可能な社会を構築するために自分にできることを考え実践する。 【前期中間考査】
	第6章 食生活をつくる 第2章 自分らしい生き方と家族 ③共に生きる家族 ④家族に関する法律	・栄養と食事、食品と調理など食生活に関わる基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、健康や環境に配慮した食生活について考え、自分や家族の食生活を工夫する。 ・家族や家庭の機能、取り巻く環境の変化や課題、社会との関りについて理解を深める。 ・男女が協力して家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性について考える。 ・HPへの取り組みと発表 ・家庭クラブ活動 【前期期末考査】
後期	第3章 子どもとかかわる 第4章 高齢者とかかわる 第5章 社会とかかわる	・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解し、適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 ・子どもを生み育てる意義について考え親や家族、地域、社会の果たす役割について考える。 ・高齢期の心身の特徴、社会環境、尊厳、自立生活の支援や介護について理解し、生活支援に対する基礎的な技能を身に付ける。 ・家族や家庭を支える福祉や社会的支援について理解し、社会の一員として共に支えあって生活する重要性について理解する。【後期中間考査】
	第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる 第1章 これからの人生について考えてみよう	・被服の機能と目的に応じた着装を理解し、安全で健康や環境に配慮した被服の計画・管理など基礎的・基本的な知識と技能を身に付ける。 ・住生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、防災などの安全や環境に配慮した住生活・住環境を工夫する。 【学年末考査】

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活を見通して、家庭や地域・社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したり、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
<b>【評価方法】</b> ・定期考査 ・ホームプロジェクト ・作品 ・ワークシート ・課題 ・学習活動への参加の仕方や態度		

令和6年度 シラバス ( ビジネス・コミュニケーション )

教科	商業	単位数	2	学年 (年次)	2年
使用教科書	ビジネス・コミュニケーション		副教材等	ビジネスコミュニケーション 検定テキスト	

1 科目の目標

ビジネスマナーを身に付けたり、様々なビジネスの場面に応じたコミュニケーションの方法を身に付けたりすることを目標にする。また外国人と接する場面では、外国の文化や商習慣を理解し、積極的にコミュニケーションをとる姿勢が求められるので、できるようにすることもまた目標である。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	企業の組織と人間関係  応対に関するビジネスマナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の組織と意思決定の流れ、組織の一員として働く場合の心がまえを身につけ、さらに、人的ネットワークを構築することの重要性を学ぶ。</li> <li>一つひとつの動作を丁寧に行うことで、相手の敬意を表すことができる。それと同時に、誠実で礼儀正しい印象を、相手に与えられることを意識して理解する。</li> </ul>
	交際に関するビジネスマナー 接客に関するビジネスマナー コミュニケーションの役割と思考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>冠婚葬祭やいろいろな料理でのマナーの基本を学び、ビジネスにおける交際や食事のマナーの重要性を認識する。</li> <li>接客に関する知識とともに、接客に対する心がまえを小売店での店頭販売を中心に学ぶ。</li> <li>コミュニケーションの役割や種類、場面や心得、さらにビジネスにおいて適切に思考し、コミュニケーションを図ることの重要性を考える。</li> </ul>
後期	ビジネスにおけるコミュニケーション  コミュニケーションとビジネススキル  企業活動とグローバル化	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスカッションやプレゼンテーション、交渉や苦情対応商品説明、ソーシャルメディアでの情報発信などの場面における技法を身につける。</li> <li>会議の進め方やビジネス文書の作成方法などを理解し、コミュニケーション能力とビジネススキル向上の重要性を理解する。</li> <li>人、もの、カネ、情報が国境を越えて、移動するグローバル化の進展によって、世界がどう変化しているのかを学ぶ。</li> </ul>
	ビジネスの会話  ビジネス文書と電子メール  ビジネスにおけるプレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤本美雪という主人公のストーリーを通じ、海外出張やビジネス会議、交渉での英語の会話を一緒に経験することで身に付けさせる。</li> <li>英文レターや電子メールの基本構造と、簡潔で分かりやすい表現を学ぶ。</li> <li>プレゼンテーションの練習を繰り返して、実践力を身につける。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能 (技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
コミュニケーションについて実務に即して系統的に理解して、ビジネスの様々な場面で役に立つコミュニケーションに関する知識と技術を身につける。	コミュニケーションをはじめとして様々な知識、技術を活用し、コミュニケーション能力が大いにいかせる場面を考えるとともに、適切な判断や表現などを考える。	コミュニケーションを適切に展開する力の向上を目指して自ら学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割をもち、他者と積極的に関わり、コミュニケーション能力の創造と発展に責任を持って取り組む。
<p>【評価方法】 定期考査、課題やレポート等の出席状況、授業中における学習態度、発表などの学習活動などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		

令和6年度 シラバス（情報処理）

教科	商業	単位数	2	学年（年次）	2年
使用教科書	「情報処理」（東京法令出版）		副教材等	全商情報処理検定模擬試験問題集2級 全商ビジネス文書実務検定模擬試験 問題集2級	

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	中間 ビジネス文書の作成 ・文書作成ソフトウェアの特徴 ・ビジネス文書の種類と作成 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク ・コンピュータシステムの概要 ・情報通信ネットワークのしくみと構成	・コンピュータを利用して文書をつくるために、文書作成ソフトウェアの設定方法や操作方法について、実習をとおして理解する。 ・コンピュータシステムと情報通信ネットワークに関する知識、技術などを基盤として、情報技術の進歩、コンピュータシステムと情報通信ネットワークの活用に関する具体的な事例など科学的な根拠に基づいて、適切な情報の収集と管理について学ぶ。
	期末 情報の集計と分析 ・情報の分析	・ビジネスにおける具体的な場面で経営に役立てるため、表から目的のデータを検索する関数の使い方を習得し、料率表などから該当のデータを見つけ出して処理することができる力を身につける。
後期	中間 ・問題の発見と解決の方法	・問題を発見し、解決するためのプロセスを理解する。 ・問題の発見や解決のために用いられるモデルの使い方を理解する。
	期末 プレゼンテーション ・プレゼンテーションの技法 ・プレゼンテーションソフトウェアの基本操作と活用	・プレゼンテーションの技法などプレゼンテーションに関する知識、技術などを基盤として、プレゼンテーションに対する要求などに基づいた適切な情報の伝達について学ぶ。

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ビジネスにおいて役立てることができる、情報を収集・処理・分析・表現するための知識や技術を身に付けている。	情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身に付けている。	組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決しようとする態度を身に付けている。

【評価方法】

定期考査、実習を含む課題の提出状況、授業中における学習態度、発表などの学習活動、検定試験へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。

令和6年度 シラバス (簿記)

教科	商業	単位数	3	学年(年次)	2年(三修制)
使用教科書	「簿記」(東京法令出版)		副教材等	標準検定簿記問題集 全商3級 全商簿記実務検定模擬試験問題集 3級	

1 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動をおこなうことなどを通して、企業における簿記の仕組みについて理解し、取引の記録と財務諸表の作成に必要な能力を育成することを目指す。

2 学習計画

学期	単元名	主な学習活動
前期	第Ⅰ編 簿記の基本 企業の簿記 資産・負債・純資産—貸借対照表— 収益・費用—損益計算書— 取引と勘定 仕訳と勘定への記入 仕訳帳と総勘定元帳 試算表	<ul style="list-style-type: none"> <li>簿記が、企業の経営活動を会計帳簿に記録し計算・整理するための記帳技術であることを学ぶ。</li> <li>資産・負債・純資産・収益・費用の基本的な概念と貸借対照表・損益計算書の役割および作成について学ぶ。</li> <li>簿記上の取引を仕訳し、転記することが、簿記の基本となることを理解する。</li> <li>仕訳帳と総勘定元帳の記帳方法について学ぶ。</li> <li>試算表の役割と作成方法について知る。</li> </ul>
	決算 第Ⅱ編 各種取引の処理 現金・預金の記帳 商品売買の記帳 掛取引の記帳 手形取引の記帳	<ul style="list-style-type: none"> <li>決算の目的および一連の決算の流れについて理解し、手続きに必要な決算の方法について理解する。</li> <li>現金の入金と出金、当座預金の預入と引出の記帳と出納帳の作成方法、小口現金の記帳について学ぶ。</li> <li>3分法による商品売買に関する取引の記帳について理解し、仕訳や補助簿の作成方法について学ぶ。</li> </ul>
後期	その他の債権・債務の記帳 有価証券の記帳 固定資産の記帳 販売費と一般管理費の記帳 個人企業の純資産の記帳 個人企業の税金の記帳	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品受渡し前の代金の受払い、金銭貸し借りなどの債権・債務の記帳法について、どの場合にどの勘定科目を用いて仕訳をするか学ぶ。</li> <li>個人企業の純資産、個人企業における各種税金の記帳方法について知る。</li> </ul>
	第Ⅲ編 決算(1) 決算整理(その1) 第Ⅳ編 会計帳簿 帳簿 3伝票制による記帳	<ul style="list-style-type: none"> <li>決算整理の意味と記帳法について理解する。</li> <li>資料をもとに8桁精算表・貸借対照表と損益計算書を作成する方法を学ぶ。</li> <li>入金・出金・振替伝票の起票方法について学ぶ。</li> </ul>

3 評価の観点、内容および評価方法

知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
簿記の基本的な仕組みについて理解し、実務に関連付けてビジネスのさまざまな場面で役立つ知識と技術が身に付いている。	簿記の知識・技術を活用し、取引に応じた場面でどの記帳が必要か考え、正しく判断できる力、適切に表現することができる力が身に付いている。	組織の一員としての役割を認識し、粘り強く学ぶ姿勢で、記帳などの内容と必要性を正確に理解し、主体的かつ責任を持って取り組もうとしている。
<p>【評価方法】</p> <p>定期考査、小テスト、課題提出状況、学習態度、検定試験へ向けた取り組み姿勢などを上記の3つの観点により評価したものと出席状況により総合的に評価します。</p>		